



松田産業株式会社
MATSUDA SANGYO CO., LTD.

IR HANDBOOK

第71期 第2四半期のご報告
2019.4.1▶2019.9.30



人を豊かに、地球を美しく

私たち松田産業は、限りある地球資源を有効活用し、業を通じて社会に貢献します

当社グループは、限りある資源・貴金属をリサイクルして有効活用する「貴金属事業」、きれいな環境を次世代に引き継ぐ「環境事業」、地球の豊かな恵み、食資源を安定的に供給する「食品事業」の3事業を展開しています。

貴金属関連事業と食品関連事業の双方を成長の牽引役とし、当社事業と社会が持続的かつ相互的に発展するサイクルを展開させていきます。

貴金属関連事業

Vision 東アジアで資源循環を創造するリーディングカンパニー

売上高構成比
59.6%
2019年9月30日現在

セグメント従業員数
1,003名
2019年3月31日現在



事業フロー



事業の成り立ち

1935年に、フィルムなど写真感光材料から、銀の回収・製錬を始めたことが事業のルーツです。銀の製造は金、白金族の貴金属事業へと展開するとともに、定着液や現像液の処理を伴うこの事業は、環境事業へと発展しました。



貴金属事業の概要

貴金属地金・エレクトロニクス業界向けの貴金属材料の製造・販売、貴金属リサイクル、薄膜形成装置治具の精密洗浄等を行っています。エレクトロニクス業界を主要な顧客先としていますが、宝飾・歯科・触媒業界向け等の貴金属リサイクルへも展開しています。

環境事業の概要

重金属含有廃液（廃酸・廃アルカリ等）の無害化処理や金属含有廃液からの金属回収、廃油・汚泥・廃プラ等のあらゆる廃棄物のリサイクルを行っています。

貴金属事業の強み

1. 貴金属化成品などエレクトロニクス業界向け製品を開発・製造・販売。
2. 高度なノウハウで前処理から分析、製錬まで対応。金、銀、白金族などを確実に回収する技術力の高さと取扱高は業界トップクラス。当社の貴金属地金は世界の貴金属市場で流通が認められています。

環境事業の強み

産業廃棄物処理からリサイクルまで、トータルリサイクルソリューションを提供。全国を網羅する産業廃棄物収集・運搬許可網を活用し、小口の廃試薬処理やPCB廃棄物の収集運搬にも柔軟に対応。

食品関連事業

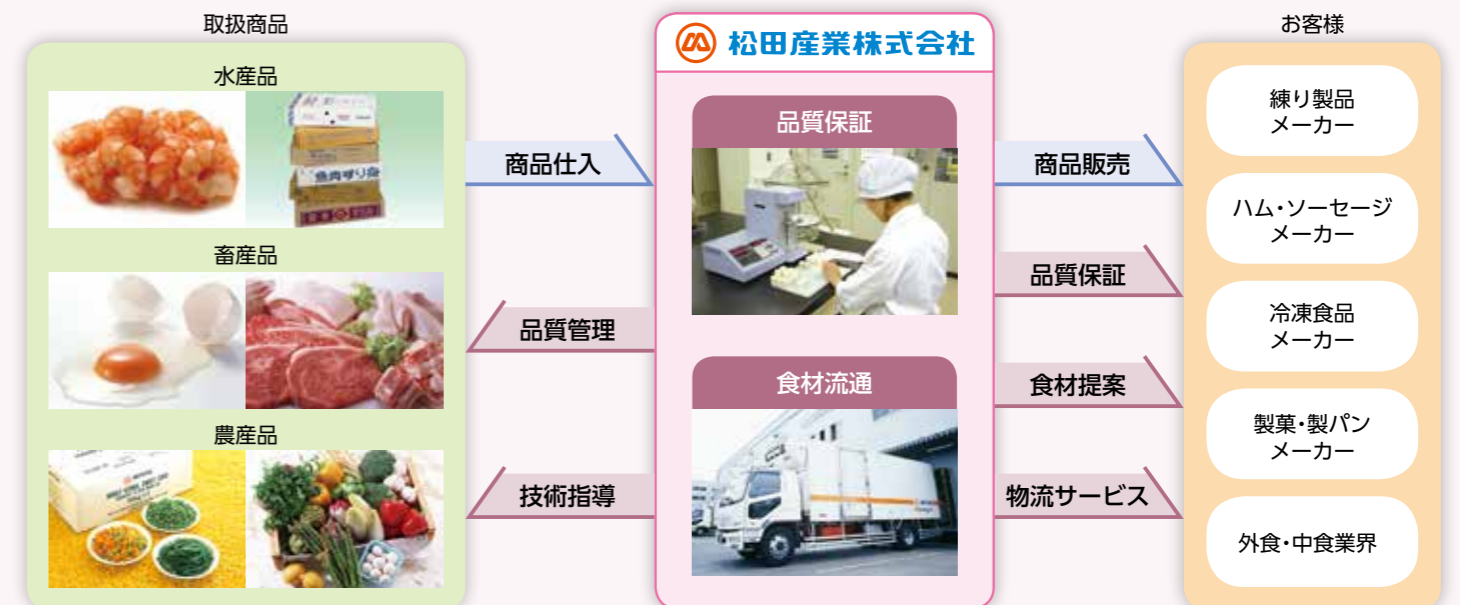
Vision お客様の商品開発のベストパートナー

売上高構成比
40.4%
2019年9月30日現在

セグメント従業員数
244名
2019年3月31日現在



事業フロー



事業の成り立ち

1948年に、食品加工メーカーのマヨネーズ製造過程で不要となった卵白を、かまぼこなど練り製品業界向けに販売したことをルーツとしています。これをきっかけに、魚肉すりみをはじめとした水産品や農産品・畜産品の取り扱いへと拡大しました。



事業の概要

欧米・アジア・南米など世界各地にネットワークを広げ、安全・安心な食材（水産品・畜産品・農産品など）を調達しています。練り製品やハム・ソーセージ、冷凍食品などの加工食品メーカーや、製菓・製パンメーカー、外食・中食業界を主要顧客としています。

事業の強み

1. ニーズに沿った加工地や産地を提案し、ユーザーが最も使いやすい形態・ロットで一次加工。新鮮素材を最適技術で現地加工し、高品質・低コストな食材を提供。
2. 品質保証室による技術指導、品質規格書の発行や、トレーサビリティの実施で安全・安心の差別化。
3. すりみ、エビ、イカ、タコ、貝、卵、チキン、ポーク、ビーフ、乾燥野菜、冷凍野菜など、多種多様な食材を提供。現地法人を活用し、グローバルな調達ネットワークを展開。



代表取締役社長 松田 芳明

環境変化への適切な対応と積極的な成長投資により、中期経営計画の目標達成に邁進します。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社の2020年3月期第2四半期（2019年4月1日～2019年9月30日）のIR HANDBOOKをお届けいたします。本誌を通じて、当社に対するご理解を深めていただければ幸いです。

2020年3月期第2四半期の業績と配当につきまして

当第2四半期においては、輸出や生産に弱さが見られたものの雇用や所得環境の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方、先行きにつきましては、通商問題の動向が世界経済に与える影響や消費税増税による国内経済への影響等、不透明な状況が続いております。

こうしたなか貴金属関連事業では、貴金属原料の確保や化成品等の製品販売、産業廃棄物処理受託の拡大に向けて、営業展開の強化や国内外の生産拠点の活用に取り組みました。その結果、貴金属リサイクルの取扱量や産業廃棄物処理受託の取扱量は横這いで推移し、貴金属製品の販売量が減少したため減収となりましたが、貴金属相場の高騰に伴う販売価格の上昇や原価低減等により、増益となりました。

食品関連事業では、販売量の拡大に向けて顧客ニーズをとらえた商品の開拓・提供に鋭意取り組み、国内外で積極的な営業活動を進めた結果、水産品、畜産品、農産品の販売が増加し販売価格も上昇したため増収となりましたが、運送費や保管料が増加したことなどから、減益となりました。

以上により、当社の2020年3月期第2四半期累計の連結業績は、売上高は前年同期比1.0%減の1,016億44百万円、営業利益は同28.1%増の32億11百万円、経常利益は同19.5%増の32億54百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同23.0%増の22億83百万円となりました。

第2四半期末の配当金につきましては、期初予定通り1株当たり17円といたしました。また、2020年3月期の期末配当も17円を予想し、年間配当は、前期から4円増配の34円とする予定です。

2019年4月～10月 ハイライト

貴金属関連事業

- 2019年10月 台湾現地法人において、貴金属関連事業の本格稼働を開始

食品関連事業

- 2019年6月 “FOOD TAIPEI 2019”（第29回台北国際食品見本市）に出展
- 2019年10月 台湾支店において、台湾市場を対象とする食品原材料販売事業の新規展開を開始

経営戦略を着実に進め、企業価値のさらなる向上と“強い”会社の実現を目指します

当第2四半期の業績は、取引拡大に取り組み、貴金属相場高騰の影響等もあり期初計画を上回ったことなどから、2020年3月期通期の業績予想を上方修正いたしました。事業環境の先行き不透明感は、今後も継続する見込みです。当社グループは、当期よりスタートした中期経営計画のもと、環境変化に適切に対応しながら事業拡大に必要な成長投資を積極的に行うことで、最終年度である2021年度の目標数値の達成と、企業価値のさらなる向上を目指してまいります。

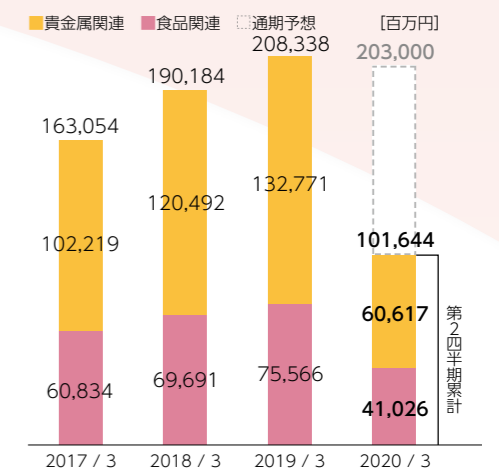
貴金属関連事業では、「東アジアで資源循環を創造するリーディングカンパニー」の実現を目指し、製品・サービス力と収益力を高めるべく、国内拠点の整備や海外地域戦略を強化します。また、海外拠点における化成品等の販売や貴金属原料回収の拡大を図ります。その一環として本年10月には、台湾現地法人で貴金属関連事業の本格稼働を開始しました。

食品関連事業では、「お客様の商品開発のベストパートナー」となることを目指し、これまで培ってきた品質保証ノウハウのもと、安全・安心かつ高品質で安定的な原材料供給によってさらなる差別化を図り、変化する顧客ニーズを着実にとらえてまいります。また、為替変動リスクへの適切な対処や、海外拠点を活用した良質な供給ソースの確保・新規顧客開拓を進めてまいります。その一環として本年10月、台湾支店で食品原材料販売事業の新規展開を開始しました。

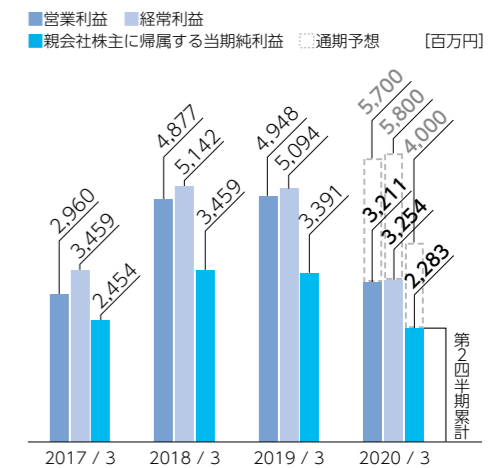
当社グループは、これら両事業における取り組みに加え、IT活用・人材育成・ガバナンスなど経営基盤の強化も着実に進めることで、社会の変化に適応し、進化し続ける“強い”会社を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも何卒一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

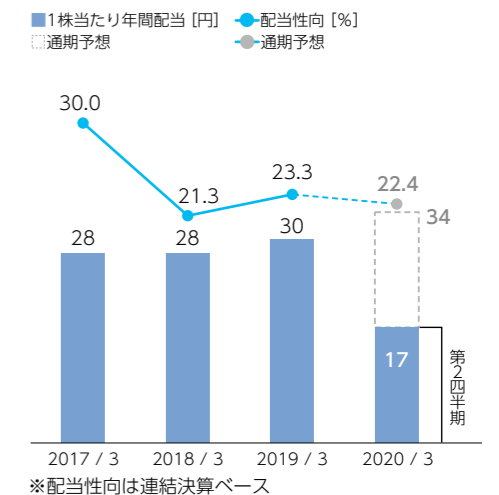
売上高



営業利益／経常利益 ／親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり年間配当／配当性向



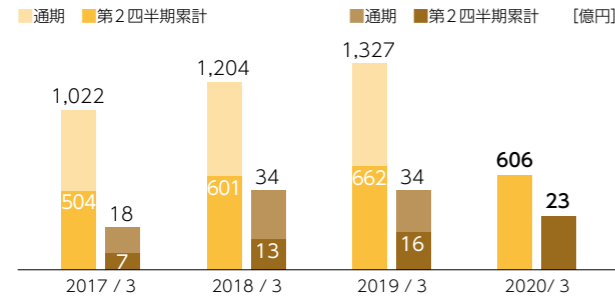
※配当性向は連結決算ベース

営業概況&グローバルネットワーク

貴金属関連事業

売上高
606億円
(前年同期比 8.5%減)

営業利益
23億円
(前年同期比 45.5%増)



2020年3月期第2四半期の業績

主力顧客であるエレクトロニクス業界は、電子部品・デバイス分野の生産減少など厳しい環境で推移しました。こうしたなか、貴金属リサイクルや産業廃棄物処理受託の取扱量は概ね横這いで推移し、貴金属製品の販売量が減少したことから、売上高は減少しました。一方で、販売価格の上昇や原価低減により、営業利益は増加しました。

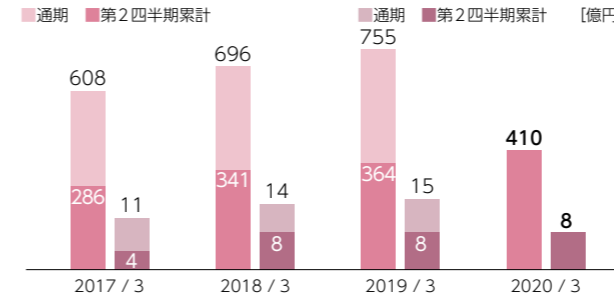
通期の見通しと施策

国内景気は今後も緩やかな回復基調が期待されるものの、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性等により先行きは不透明な状況が続く見込みですが、国内外の拠点強化や効率化のほか、積極的な新規需要開拓により、業容の維持拡大を図ります。

食品関連事業

売上高
410億円
(前年同期比 12.5%増)

営業利益
8億円
(前年同期比 3.8%減)



2020年3月期第2四半期の業績

主力顧客である食品製造業界は、加工食品需要の高まり等を背景に生産活動は総じて堅調に推移しました。こうしたなか、水産品、畜産品および農産品の販売量が増加し、販売価格も上昇したことなどから、売上高は増加しました。一方で、運送費および保管料の増加もあり、営業利益はわずかに減少しました。

通期の見通しと施策

国内個人消費は弱含みが続く見込みであるものの、海外拠点も活用しながら顧客ニーズを的確にとらえた営業活動と、「安全」「安心」「安定供給」を差別化ポイントとした商品の開拓・提供により、着実な収益確保を図ります。

Overseas Investment

台湾現地法人で貴金属関連事業が本格稼働

今後のエレクトロニクス産業の回復・再成長が大きく期待できる台湾において、貴金属関連事業の拡充を目指した戦略投資が進んでいます。当社は、2011年に開設した台湾支店を発展させる形で、本年2月に台湾現地法人を設立しました。当現地法人では、かねて進めていた貴金属関連事業への投資が順調に進んだ結果、本年10月より本格稼働を開始しました。今後も、「東アジアで資源循環を創造するリーディングカンパニー」の実現に向けた取り組みに邁進します。



台湾松田産業股份有限公司

New Development

台湾で食品原材料販売事業の新規展開を開始

中期経営計画の経営戦略の1つとして食品関連事業のグローバル展開に注力する当社は、豊かな食文化を背景に今後も市場の拡大が見込まれる台湾において、本年10月、食品原材料販売事業の新規展開を開始しました。食品原材料の新たな販売市場の開拓や現地における仕入強化に向けて、台湾支店が輸出入や現地販売、その他付随サービスを行うことで、事業のグローバル化を推進します。また、これに先立ち、本年6月には、台湾現地や周辺国の食品関連事業者がアジア地域での取引拡大を目指して集まる「FOOD TAIPEI 2019」(第29回 台北国際食品見本市)に出展し、当社ブースにも、多くのお客様が訪れました。



FOOD TAIPEI 当社出展ブース

貴金属関連事業 東アジアネットワーク



食品関連事業の 拠点と主な調達先



会社情報 / 株式情報

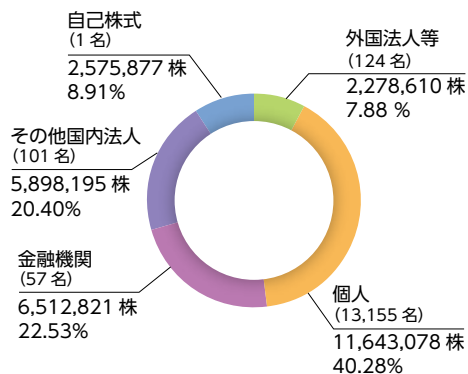
会社概要 (2019年9月30日 現在)

| | | | |
|-------|-----------------|----------|--|
| 商号 | 松田産業株式会社 | 従業員数(連結) | 1,377名 |
| 本社所在地 | 東京都新宿区西新宿1-26-2 | 主な事業内容 | 貴金属回収製錬、貴金属地金・電子材料他の販売、食品加工原材料の卸売、産業廃棄物の収集・運搬・処理 |
| 設立年月日 | 1951年6月18日 | 会計監査人 | EY新日本有限責任監査法人 |
| 資本金 | 3,559百万円 | | |

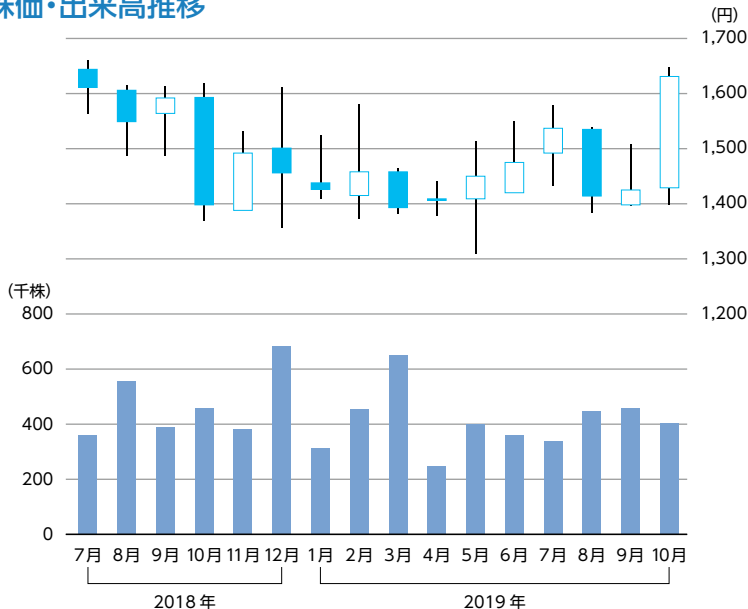
株式の状況 (2019年9月30日 現在)

| | |
|---------|-------------|
| 株式の総数 | 40,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 28,908,581株 |
| 株主数 | 13,438名 |

所有者別分布状況 (2019年9月30日 現在)



株価・出来高推移



株主メモ

| | |
|--------------|---|
| 事業年度 | 4月1日～翌年3月31日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領株主確定日 | 9月30日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711 (通話料無料) 〈郵送先〉 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京証券取引所 電子公告により行う 公告掲載URL https://ir.matsuda-sangyo.co.jp/ja/Top.html (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。) |
| 上場証券取引所 | |
| 公告の方法 | |

株主優待

- 対象株主**
毎年3月31日現在、当社株式を1年以上継続して、1単元(100株)以上保有する国内在住の株主様を対象といたします。
※なお、1年以上継続保有の株主様とは、同じ株主番号で3月31日および9月30日現在の株主名簿に3回以上連続で記載または記録された株主様です。
- 優待の内容**
一律2,000円相当の当社オリジナル「QUOカード」を贈呈いたします。
- 贈呈の時期**
毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。



ホームページのご案内

松田産業 検索 トップ画面

当社の事業や強み、最新の取り組みをご紹介しています。ぜひ、ご覧ください。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(株式に関するマイナンバー制度のご案内)

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続きが必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届けいただく必要があります。
【株式関係業務におけるマイナンバーの利用】
法令に定められたとおり、支払調書には株主様のマイナンバーを記載し、税務署へ提出いたします。
主な支払調書 ・配当金に関する支払調書
・単元未満株式の買取請求など株式の譲渡取引に関する支払調書

【マイナンバーのお届けに関するお問合せ先】

証券会社等の口座にて株式を管理されている株主様…お取引の証券会社等にお問合せください。
証券会社等のお取引がない株主様…三菱UFJ信託銀行株式会社にお問合せください。
TEL.0120-232-711 (通話料無料)